

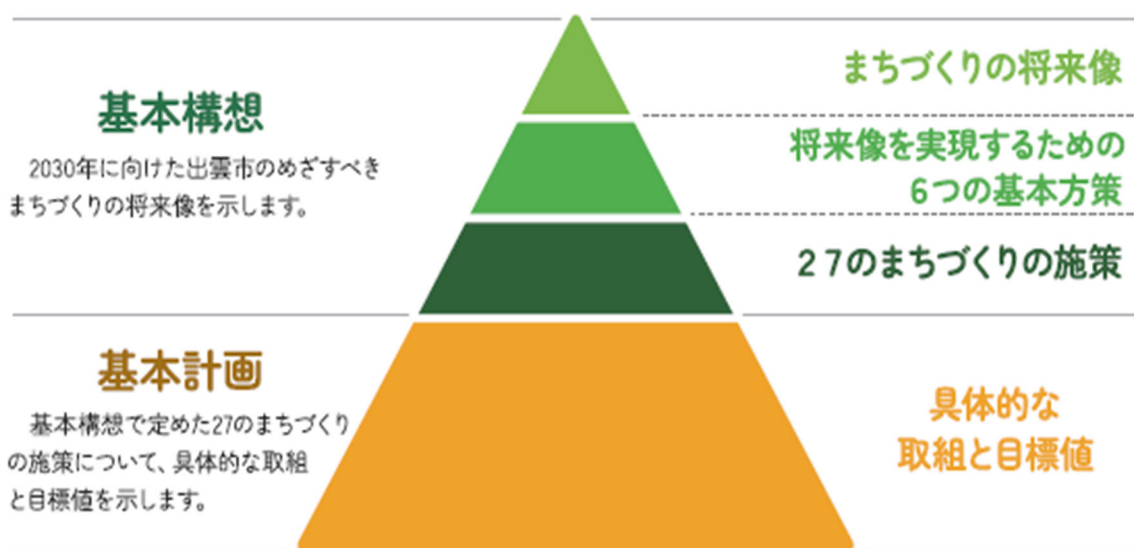
出雲市総合振興計画「出雲新話 2030」前期基本計画（令和 4 年度～
令和 6 年度）の実施結果について

令和 6 年度に終期を迎えた出雲市総合振興計画「出雲新話 2030」前期基本計画の実施結果を報告します。

1 前期基本計画の概要

総合振興計画は、基本構想と基本計画で構成しています。基本構想では、まちづくりの将来像『出雲力』で夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまちの実現に向けて、6つの「基本方策」とその目標である「チャレンジ目標」、27の「まちづくりの施策」を掲げています。

基本計画では、基本計画期間中に取り組む具体的施策・事業を「まちづくりの施策」に掲げ、体系的に示しています。基本計画に掲げる具体的施策には、施策の進捗状況を計るための指標である「まちづくりの指標」（重要業績評価指標・KPI）を施策別に設定し、PDCAサイクルによる評価検証を毎年度実施しています。



【 6 つ の 基 本 方 策 】



まちづくりの各施策(取組)については、6つの基本方策を横断的に捉え、全部で27項目の施策で構成し、推進します。

【 施策体系図 】

まちづくりの施策（取組）			ともに 創る	ともに 守る	ともに 結ぶ	ともに 支える	ともに 育む	ともに 楽しむ
施 策 名	01	海・山・大地の恵みを生かす	★	●	○	○	○	○
	02	“出雲”の「ブランド力」で価値を高める	★	●	○	○	○	○
	03	地場企業が地域を支える	★	●	○	○	○	○
	04	多種多様な企業立地を	★	●	○	○	○	○
	05	「人財力（じんざいりょく）」で地域産業を“前へ”	★	●	○	○	○	○
	06	誰もが「安全・安心」に暮らせるまちに	★	○	●	○	○	○
	07	未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ		○	●	○	○	○
	08	期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲	★	○	○	●	○	○
	09	「住みたい」、「住み続けたい」の縁結び	★	○	○	●	○	○
	10	ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ	★	○	○	●	○	○
	11	あのまち・このまち 出雲を結ぶ	★	○	○	●	○	○
	12	いにしへの「財（たから）」を守り、活かす		○	○	●	○	○
	13	「産みたい」「育てたい」を応援	★	○	○	○	●	○
	14	ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を	★	○	○	○	●	○
	15	いつまでも元気、ずっと現役で	★	○	○	○	●	○
	16	誰もが大切にされる社会をめざして	★	○	○	○	●	○
	17	ぬくもりのある福祉サービスを		○	○	○	●	○
	18	地域特性を生かして安心な医療を		○	○	○	●	○
	19	地域とともに持続可能な中山間地域を	★	○	○	○	●	○
	20	出雲のインフラを整え「安心」を支える		○	○	○	●	○
	21	デジタルの力で未来をデザイン		○	○	○	●	○
	22	家庭・地域・学校で育む出雲の教育を	★	○	○	○	○	●
	23	人が地域を、地域が人を育てる	★	○	○	○	○	●
	24	芸術文化で豊かな出雲を		○	○	○	○	●
	25	スポーツで元気な出雲を		○	○	○	○	●
	26	誰もの「学びたい」を実現		○	○	○	○	●
	27	出雲の魅力、発信します	★	○	○	○	○	●

※★は、「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」に記載

2 前期基本計画の評価

(1) 評価方法

前期基本計画の評価は、計画の最終年度である令和6年度のK P I 目標値と実績値を比較し、以下の方法で評価しました。また、令和6年度単年度目標と、3年間の累計目標を併記している場合、累計目標値と実績値を比較し、評価しました。

【評価方法】

令和6年度目標値に対する令和6年度実績値の達成率

A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、
D：60%未満

【目標達成率の算出方法】

(令和6年度の実績値÷令和6年度の目標値) × 100

(2) まちづくりの指標（K P I）の達成状況

全指標数194項目のうち、達成率が算定可能な174項目中、A・B評価項目が136項目（全体に占める割合78.2%）となりました。

6つの基本方策	指標数	評価・達成率					評価対象外※
		A 100%以上	B 99～80%	C 79～60%	D 59%以下	合計	
ともに創る 雇用創出・農林水産業・ 商工業・IT産業・出雲 ブランドなど	28	15	3	6	3	27	1
		55.6%	11.1%	22.2%	11.1%	100%	
ともに守る 防災・防犯・脱炭素・ 環境問題・空き家対策・ など	24	9	8	3	1	21	3
		42.9%	38.1%	14.3%	4.7%	100%	
ともに結ぶ 観光・移住定住・交通初 トラク・広域連携・文化財 活用など	32	15	9	4	3	31	1
		48.4%	29.0%	12.9%	9.7%	100%	
ともに支える 子育て・健康・福祉・ 医療介護・中山間地域振 興・インフラ・デジタルなど	65	21	23	7	5	56	9
		37.5%	41.1%	12.5%	8.9%	100%	
ともに育む 教育・市民活動・自治会 活動など	21	11	7	1	2	21	0
		52.4%	33.3%	4.8%	9.5%	100%	
ともに楽しむ 芸術文化・スポーツ・ 生涯学習・情報発信 など	24	9	6	2	1	18	6
		50.0%	33.3%	11.1%	5.6%	100%	
合計	194	80	56	23	15	174	20
		46.0%	32.2%	13.2%	8.6%	100%	

※令和6年度の目標値を設定していない項目

3 基本方策別の実施結果

(1)ともに創る

①チャレンジ目標の結果

チャレンジ目標	計画策定時 実績	目標値	実績値
	R 3 年度	R 4 ～ R 1 1 年度	R 4 ～ R 6 年度
新規雇用創出 (8 年間)	268 人	2,000 人 (3 年間 750 人)	1,254 人 (全期間達成率※1 62.7%) (前期計画期間達成率※2 167.2%)

※1 チャレンジ目標に対する令和 6 年度実績値の割合

※2 前期基本計画 3 年間で達成すべき目標に対する令和 6 年度実績値の割合

【評価】

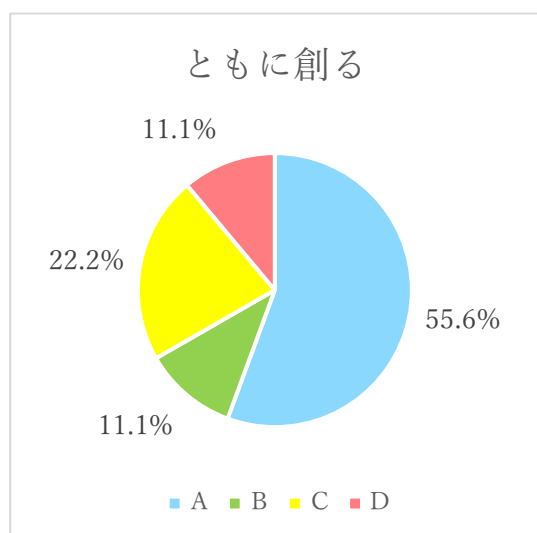
前期 3 年間の新規雇用創出の目標 7 5 0 人に対し、実績は 1, 2 5 4 人であり、目標を達成しました。このうち約 8 割が誘致企業での雇用であり、企業誘致が雇用創出に大きな成果をあげています。

一方、人手不足が喫緊の課題となっている産業分野もあり、引き続き出雲地区雇用推進協議会と連携したガイダンス・セミナーの開催、U I ターン就職希望者や外国人住民に対する就職支援に取り組むとともに、学生の地元就職を促進するため、学生就職相談窓口での就職相談や、高校入学時から大学等卒業までの学生に対して、市の地域情報や就職に関する情報を効果的に配信する「いずも学生登録」の取組等、人材確保に向けた施策に取り組めます。

②まちづくりの指標（K P I）の達成状況

「ともに創る」の指標数 2 8 項目のうち、達成率が算定可能な 2 7 項目中、A・B 評価項目が 1 8 項目となり、全体に占める割合は、6 6. 7 %となりました。

特に全体に占める A 評価項目の割合が 5 5. 6 %となり、他の基本方策より高い結果となりました。



(2)ともに守る

①チャレンジ目標の結果

チャレンジ目標	計画策定時 実績	目標値	実績値
	R 3 年度	R 1 2 年度	R 4 年度
CO ₂ の 排出量削減 (平成25年度比)	10.1%削減	46%削減	7.8%削減※ (令和4年度時点達成率17.0%)

※令和7年度環境省公表データ（令和4年度実績）を用いた推計値

【評価】

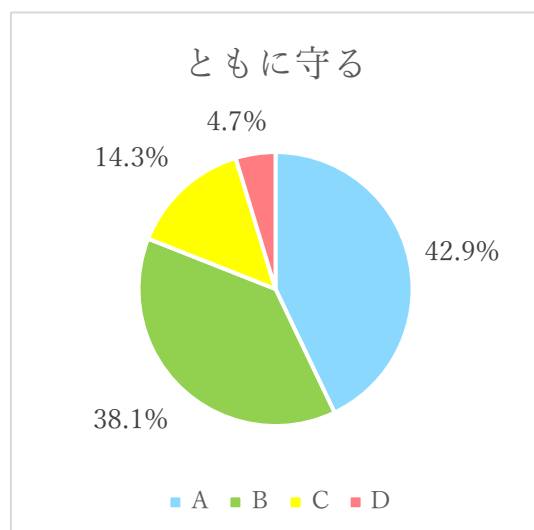
令和7年度環境省公表データを用いた令和4年度の推計値では、平成25年度比でCO₂排出量を7.8%削減しました。令和4年度は、家庭部門において、コロナ禍の在宅時間増の影響などにより電力使用量が大幅に増加したこと、産業部門においては、電力・ガス及び石油エネルギー使用量が増加したことの影響により、CO₂削減率が減少しました。

今後も脱炭素社会の実現に向け、2030年のCO₂排出量削減46%を達成するため、市民や事業者への再生可能エネルギー設備導入や省エネルギー対策への支援、デコ活をはじめ、CO₂削減に向けた意識醸成と行動変容を促すための普及・啓発、事業者への脱炭素経営に資する勉強会開催や設備導入計画作成支援等に取り組みます。

②まちづくりの指標（KPI）の達成状況

「ともに守る」の指標数24項目のうち、達成率が算定可能な21項目中、A・B評価項目が17項目となり、全体に占める割合は81.0%となりました。

防犯・空き家対策・環境等の分野においては、A・B評価項目が多く、概ね目標を達成しました。



(3)ともに結ぶ

①チャレンジ目標の結果

チャレンジ目標	計画策定時 実績	目標値	実績値
	H30年	R4～R11年	R4～R6年
交流人口 (8年間) ※	1,162 万人	1 億人 (3 年間 3,750 万人)	3,431 万人 (全期間達成率 34.3%) (前期計画期間達成率 91.5%)

※観光入込客数で数値化、暦年（1月～12月）で集計

【評価】

前期3年間での交流人口の目標3,750万人に対し、実績は3,431万人となり、目標を下回りました。

コロナ禍後の観光需要の回復に伴い、交流人口（観光入込客数）は増加傾向でしたが、令和6年は、多くの観光客が訪れる夏場に、大雨災害により日御碕への訪問が一時的に制限されたことが一因となり、目標を下回りました。

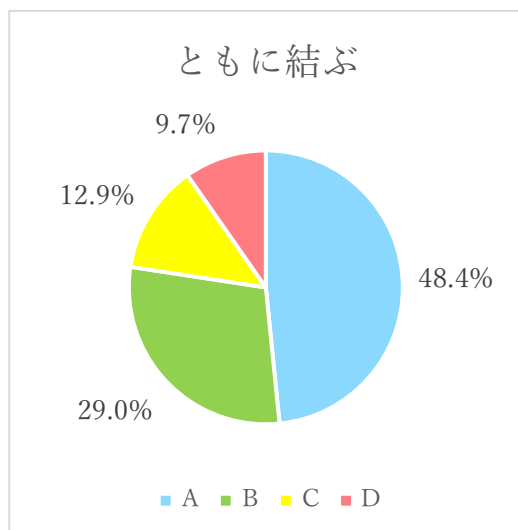
今後は、令和7年3月に策定した「出雲市観光基本計画」に基づき、周遊滞在型・通年型観光の充実を図ります。地域DMO登録した出雲観光協会とともに、マーケティング戦略の策定や、観光地経営体制の構築を地域とともに進めます。

また、誘客・ファン拡大や新たな市場の一つに位置づけるインバウンド誘客施策等を推進し、持続可能な観光まちづくりを進めます。

②まちづくりの指標（KPI）の達成状況

「ともに結ぶ」の指標数32項目のうち、達成率が算定可能な31項目中、A・B評価項目が24項目となり、全体に占める割合は、77.4%となりました。

観光、交通ネットワーク、文化財分野ではA・B評価項目が多く、概ね目標を達成しました。



(4)ともに支える

①チャレンジ目標の結果

チャレンジ目標	計画策定時 実績	目標値	実績値
		R 1 1 年	R 6 年
合計特殊出生率 (8年後)	1.72 (R 3 年)	2.1	1.52 (全期間達成率 72.4%)
健康寿命※1 (8年後)	男性 17.54 年 女性 21.00 年 (本市の 65 歳平均自立 期間の H23～27 年の平 均値)	1 年延伸 男性 18.54 年 女性 22.00 年	男性 0.72 年※2 (全期間達成率 72%) 女性 0.70 年※2 (全期間達成率 70%)

※1 65 歳平均自立期間 (65 歳以降、日常的に介護を必要としないで自立して生活できる期間)

※2 本市の 65 歳平均自立期間の R1～5 年の平均値

【評価】

令和 6 年の合計特殊出生率は、1.52 となりました。全国平均は 1.15、県平均は 1.43 であり、本市の合計特殊出生率は国・県と比較し高い水準にあります。社会情勢の変化や若年女性人口の減少等の理由により減少傾向です。

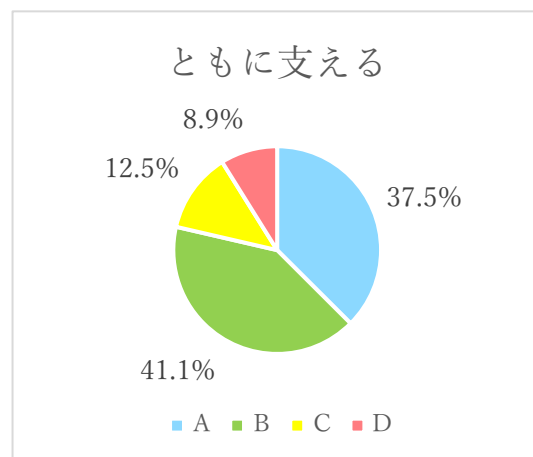
今後は、若者の移住・定住支援や、令和 6 年度に策定した「こどもえがおプラン」に基づき、「こどもの権利が保証され、こどもが意見を言えるまちづくり」をベースとして、妊娠期から青年期までのそれぞれのライフステージに応じた切れ目のない支援を行うとともに、子どもが健やかに成長でき、子育てしやすい環境づくりに取り組みます。

健康寿命は男女とも着実に延伸していましたが、令和 6 年は男女とも伸びが縮小しました。今後も、がん検診の受診率向上や地域で行われる健康教室の支援、住民主体で介護予防活動を行う「通いの場」の支援等総合的な健康づくりを行うとともに、在宅医療や介護等の連携を図り、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

②まちづくりの指標（KPI）の達成状況

「ともに支える」の指標数 65 項目のうち、達成率が算定可能な 56 項目中、A・B 評価項目が 44 項目となり、全体に占める割合は 78.6% となりました。

子育て、インフラ、地域医療分野では A・B 評価が多く、概ね目標を達成しました。



(5)ともに育む

①チャレンジ目標の結果

チャレンジ目標	計画策定時 実績	目標値	実績値
	R 3 年	R 1 1 年度	R 6 年度
高校生が「出雲に愛着や、魅力・誇りを感じる」と答えた割合 (8年後)	81.1%	85%	81% (全期間達成率 95.3%)

【評価】

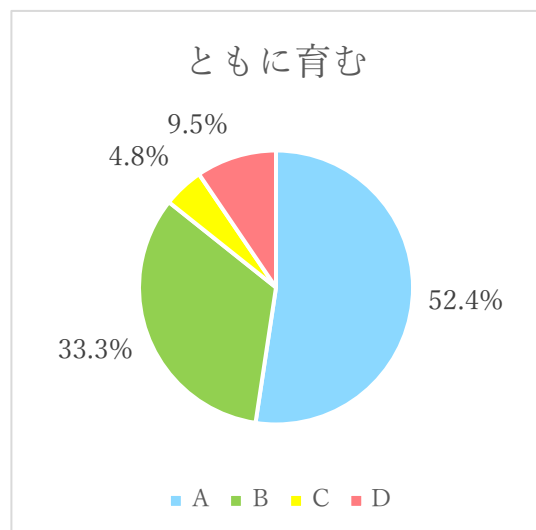
令和6年度に実施した高校生アンケートにおいて、「出雲に愛着や、魅力・誇りを感じる」と答えた高校生の割合は、81%となりました。

出雲に愛着や魅力、誇りを持つ若者を育むことは、定住意向にもつながることから、今後も小・中学生のふるさと教育などの取組を継続するとともに、高校生に対しては、高校ネットワークコーディネーターの活用や地域、学校と連携したふるさと教育に取り組めます。

②まちづくりの指標（K P I）の達成状況

「ともに育む」の指標数21項目中、A・B評価項目が18項目となり、全体に占める割合85.7%となり、高い達成率となりました。

教育分野、地域における人材育成分野では、A・B評価項目の割合は、いずれも80%を超えています。



(6)ともに楽しむ

①チャレンジ目標の結果

チャレンジ目標	計画策定時 実績	目標値	実績値
	H30年度	R4～R11年度	R4～R6年度
生涯学習施設 利用者数 (8年間)	268 万人	2,200 万人 (3年間 825 万人)	771 万人 (全期間達成率 35.0%) (前期計画期間達成率 93.4%)

【評価】

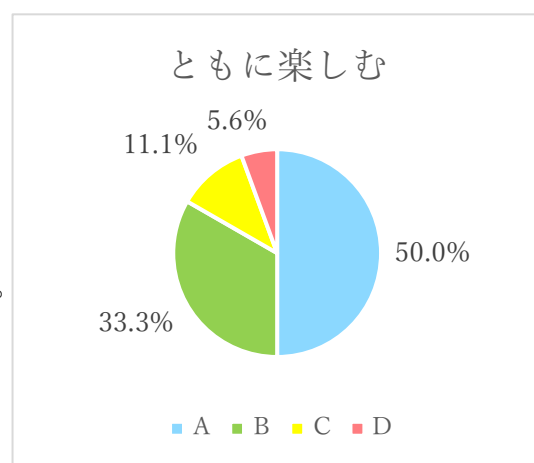
令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、令和5年度に感染症法上の位置付けが5類に移行し、コミュニティセンターや文化系施設の利用者数は増加に転じました。さらに、令和6年4月に出雲市総合体育館がオープンし、多くの方に利用していただいたことで、全体の施設利用者数は大きく伸びました。

今後も、市民が芸術文化やスポーツ活動を楽しみ、市民生活がより充実したものとなるよう、利用者のニーズを把握した事業実施に取り組めます。

②まちづくりの指標（KPI）の達成状況

「ともに楽しむ」の指標数24項目中、達成率が算定可能な18項目中、A・B評価項目が15項目となり、全体に占める割合は、83.3%となりました。

情報発信の分野では、すべてA評価となりました。



4 前期基本計画の総括

前期基本計画においては、チャレンジ目標及びまちづくりの指標（KPI）は概ね目標を達成しており、着実に成果をあげていると考えています。

この流れを止めることなく、まちづくりを進めるため、今後5年間の施策等を掲げた後期基本計画においては、前期基本計画における取組実績、課題や社会・経済の情勢を踏まえ、施策ごとにPDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）による点検・評価検証を毎年度実施し、必要に応じて、施策内容や目標値を見直すことで、より効率的で効果的な施策を実施します。

そして、掲げる施策を着実に取り組むことで、引き続き本市の人口規模を維持し、まちづくりの将来像である『出雲力』で夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまちの実現をめざします。